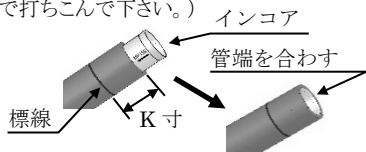


SKX® 施工手順 (ISO-P20 用インコア付)

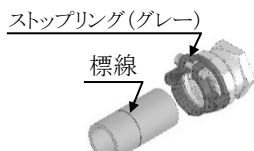
〔クボタケミックス建築設備用ポリエチレンパイプ用〕

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K寸)を測り**標線**を記入し、インコアを**矢印の方向に挿入**して下さい。
(パイプとインコアの端面が合うようにインコアを**木づち**で打ちこんで下さい。)



分解せずにそのまま挿入量まで挿し込んで下さい。



- 注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
・滑剤の塗布は不要です。
・管止めがある場合は管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

②キャップ仮締め

本体とキャップを十分手締め(**素手もしくはスベリ止め付グローブで締めなくなるまで**)した後、マジック等で**マーキング**して下さい。

- 注2) ・十分な手締めは(素手)は 8N・m 程度です。
・十分な手締めは管を引っ張っても抜けない程度まで締めて下さい。
・手袋使用の場合はスベリ止め付グローブを使用して下さい

③キャップ本締め

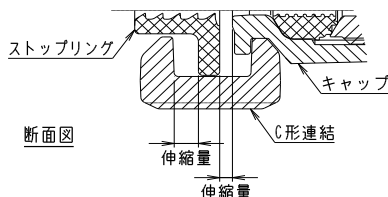
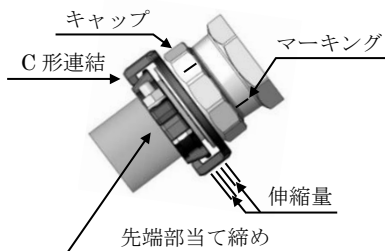
ショートレンチにてキャップを**標準締付回転数(標準締付トルク)**で締め付けて下さい。



注3) 低温時は通常より 1/4 回転増し締めして下さい。

④ストップリング本締め

C形連結を管中心方向に**押えながら、ストップリングを締めやすい位置に**して下さい。
両端に伸縮量を保った状態で、**ストップリング先端部を当て**締めして下さい。



注4) 当て締め後さらに**締め付けすぎると破損などの不具合**が生じることがあります。

注5) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

注6) 再施工時は再施工手順書に従って下さい。

⑤施工完了・施工手順チェックシートへの記入

キャップとストップリングの**締め忘れのないように確認**を行って下さい。

《パイプ取り外し方法》

・ストップリングの締付ボルト・ナットとキャップを緩め、**ストップリング締付部を開放工具で広げることにより、パイプとの分離可能です。(分解不要)**

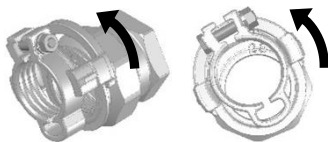
管 呼び径	SR 呼び径 (グレー)	本体・ キャップ 呼び径	K (mm)	キャップ		ストップリング (参考締付トルク N・m)		六角 対辺
				十分な手締め後 回転数	参考締付トルク N・m			
20	ISO-P 20	20	55	1/2~1	(20)	当て 締め	(3)	10

※太字：基準値

SKXストップリング（SR）交換手順

①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



②ストップリング取り外し

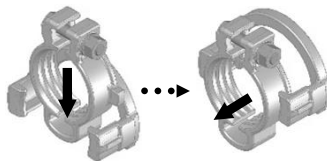
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜く。



③ストップリング交換

適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。

